

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市立地適正化計画 第2回策定委員会
開 催 日 時	令和5年1月30日（月） 開会：14時00分 ・ 閉会：16時00分
開 催 場 所	行田市産業文化会館2階 第2会議室
出 席 者（委員） 氏 名	田尻委員長、樽見委員、黒坂委員、酒井委員、大島委員、細井委員、長岡委員、根岸委員、長谷川委員
欠 席 者（委員） 氏 名	鈴木委員
事 務 局	【都市計画課】 青山部長、寺田課長、藤野副参事、馬場主幹、芹澤主査、増田主事
会 議 内 容	行田市立地適正化計画策定に向けた市の現況と課題、まちづくりの方針等について
会 議 資 料	（資料名・概要等） 資料1 行田市の現況 資料2 行田市課題の整理 資料3 立地適正化計画で目指す将来の姿 資料4 市民・中学生アンケート調査結果
その他必要事項	傍聴人1名

会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 氏 名
	令和5年3月20日	田尻 要

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> </ul>
田尻委員長	<p><b>2 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田尻委員長よりあいさつ</li> </ul>
事務局	<p><b>3 議事</b></p> <p><b>(1) 市の現況と課題について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料に沿って説明</li> <li>・質疑</li> </ul>
長岡委員	<p>2点ほど質問がある。1点目、生産緑地について、制度開始から30年が経過し、生産緑地の宅地化が懸念されるが、行田市ではどの程度宅地になったのか。2点目、吹上駅から行田市内へのバス路線について、乗降客数は現在どの程度なのか。</p>
事務局	<p>生産緑地から移行できる特定生産緑地という制度が新たに始まり、行田市でも特定生産緑地への移行が進んでいる。特定生産緑地に移行しない農家は行田市においては全体の1割程度である。バス路線の乗降客数については手元に資料はない。</p>
田尻委員長	<p>いただいた意見を基に修正があれば事務局で修正し、それを私が確認することで委員会の意見とさせていただく。</p>

	<p>(2) まちづくりの方針・誘導方針について及び</p> <p>(3) 都市の骨格構造について</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料に沿って説明</li> <li>・質疑</li> </ul>
樽見委員	<p>都市の骨格構造において、広域交流軸とあるが、群馬県との広域連携はどの程度考えているのか。</p>
事務局	<p>立地適正化計画の中で群馬県との広域連携については定めておりません。本市の立地適正化計画では、秩父鉄道やJR高崎線を広域連携軸として大切にし、循環バスなど公共交通網を効率的に残して、中心市街地だけでなく、市街化調整区域の集落地も維持していくという考えである。</p>
根岸委員	<p>行田市駅周辺に施設を集約できる状況になっているのか、また、駅周辺に市民が集まりやすくなっているのか疑問である。</p> <p>次に、市民は吹上駅を利用している方が多く、行田市だから行田駅を拠点にするのは計画の趣旨と異なるのではないか。行田駅を拠点にする場合、市としてどのように人の流れを持っていく方向性なのか等の考えがなければ行田駅を拠点にすることは難しいのではないか。</p> <p>最後になるが、路線バスを充実させていくのもよいが、デマンドタクシー等を充実させていかないと生活しやすい市にならないのではないか。</p>
事務局	<p>行田市駅周辺やJR行田駅周辺については、これまでも市の上位計画において拠点として位置づけてきた。本計画における拠点の設定については、これまでの計画や基礎調査を踏まえ設定している。</p>

	<p>各拠点に必要とされる施設の検討は今後進め、次回の策定委員会で示していく予定である。</p> <p>人の流れや公共交通については、地域公共交通計画（現在策定検討中）と立地適正化計画を連携させることで公共交通ネットワークの充実を図っていく。</p> <p>行田市駅やJR行田駅周辺については、本計画の中で、都市機能誘導区域を設定し周辺部に居住者を緩やかに誘導していく想定である。</p>
田尻委員長	<p>「行田」という名を冠した駅であるので、現有資産を活かした行政計画としていければよいと考えている。行田市駅、JR行田駅ともに、現状、利用者が少ないからどうするかではなく、現在の市で拠点となっている場所をどのように活用していくかを検討していければ良いと考える。</p>
細井委員	<p>資料1のP11、都市計画法第34条第12号区域の活用方法を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>平成17年に告示された行田市開発行為許可等審査基準第17条の審査基準では、（1）開発区域が告示時に行田市大字持田の一部または駒形2丁目の一部であること、（2）予定建築物が卸売業、小売業又は宿泊業、飲食サービス業に分類される店舗であることとされている。何か事業があれば担当窓口である建築開発課に相談してほしい。</p>
細井委員	<p>行田市は産業、商業、農業が複雑に関係している。産業では、工業団地を活性化させていく必要があると考えている。商業では、大型商業店舗が増えてきており、今後も立地が進むことが想定されるものの、場所によっては埋蔵文</p>

	<p>化財が発見され工事が止まってしまうこともあり、民間事業者にとっては足枷となっているのではないか。観光では、国や市の政策により、観光客が増加傾向にあり、お土産品を中心に売上が伸び、地域が活性化している。行田市には観光資源が多くあるため、それらを活かして今後も事業を進めてほしい。最後となるが、埼玉県ではスーパーシティ等、新たな計画が動いてきているので、今後も関係課、関係機関と連携してまちづくりを進めてほしい。</p>
事務局	<p>スーパーシティ等検討の必要性は感じている。今回立地適正化計画を進めていく中で魅力あるまちづくりを進め、また、関係各課とも連携しながら本計画を練っていきたい。</p>
長谷川委員	<p>拠点の中に、防災リスクが確認できるが、それらの対応は今後検討していくということで良いのか。</p>
事務局	<p>立地適正化計画の中で防災指針の検討を進める。その中で災害リスクを調査・分析を行い、どのようなソフト、ハードの防災の取組みが必要かを検討していく。</p>
長谷川委員	<p>防災リスクのある場所で生活している人を、拠点に移住させる等の考えではないということか。</p>
事務局	<p>拠点にすべてを集めるものではない。今後、計画の中で居住誘導区域の設定検討し、その場所に緩やかに誘導していくものである。</p>

田尻委員長	<p>いただいた意見を基に修正があれば事務局で修正し、それを私が確認することで委員会の意見とさせていただく。</p>
事務局	<p>(4) アンケート調査結果について (報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料に沿って説明</li> <li>・質疑</li> </ul>
根岸委員	<p>中学生アンケート調査の回収率が悪いが再度アンケートを行うのか、もしくはどういった経緯でこうなったのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>再度アンケートを行うことは考えていない。中学生アンケート調査はWEBで行い、QRコードを載せたチラシを担当の先生に1人1枚配布してもらい、自宅PCやスマートフォンなどで回答できるようにした。回答率が想定より低く残念ではあるが、将来のまちで生活する中学生の意見を参考に収集したものなので、本結果についても参考に検討を進めていく予定である。</p>
田尻委員長	<p>有意性の検証はしているのか。</p>
事務局	<p>中学生アンケートの回収率については、標本誤差±10%程度は許容可能である調査内容である点から、現在のサンプル数で十分との判断をしている。</p>
黒坂委員	<p>各種アンケート調査の結果は立地適正化計画でどのように活かしていくのか。</p>
事務局	<p>今後の誘導区域、誘導施設の検討につなげていく。</p>

黒坂委員	立地適正化計画を策定する際には、再度意見を収集する予定なのか。ぜひ若い人の意見が入る計画の策定を目指してほしい。
事務局	今後、パブリックコメントの他、市民に意見をもらう機会を設ける。多世代の市民意見を収集できるようなオープンハウス形式での開催を予定している。
酒井委員	今後、人口減少や公共施設の老朽化等で更なる財源の圧迫が懸念されると思う。立地適正化計画の中で位置づけると、様々な財源を確保できると思うが、若い人にとって、まちに住み続けたいと思えるまちづくりをしていてもらえたいことを願う。
事務局	公共施設については、今後の動きが検討される時期にある。公共施設等総合管理計画で施設の方針については、検討が進んでいるため連携して本計画を検討していく。
細井委員	中学生アンケート調査結果を見ると、遊んだり買い物したりできるところが求められている。それと合わせ市内で、商工業の振興や観光と連携してまちづくりを進めていければよいのではないかと思う。
田尻委員長	いただいた意見を基に修正があれば事務局で修正し、それを私が確認することで委員会の意見とさせていただく。
事務局	<p><b>4 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の策定委員会は4月中旬を予定している。</li> </ul>

	5 閉会
--	------